

現況と今後の展望(決算説明会資料)



ラウンドワン コロナドセンター店
米国ニューメキシコ州アルバカーキ
2018年6月30日オープン！

株式会社ラウンドワン

代表取締役社長 杉野 公彦

東京証券取引所 市場第1部

Code Number: 4680

2018年8月8日

連結決算の分析① 第1四半期実績【前年対比】



(単位:億円) ※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

		単位	2018年3月期実績 (2017.4~2017.6)	2019年3月期実績 (2018.4~2018.6)	増減率 (%)
店舗	期末店舗数 ①	店舗数	122	128	+4.9
	期中店舗稼働月数	月数	366	380	+3.8
損益	ボウリング		55.2	55.2	△0.1
	アミューズメント		100.3	107.8	+7.5
	カラオケ (米国はその他含む)		21.6	23.6	+9.3
	スポッチャ		29.5	30.3	+2.7
	その他		7.0	6.9	△0.8
	総売上		213.7	224.0	+4.8
	売上原価		198.4	205.4	+3.5
	売上総利益		15.3	18.6	+21.6
	販売費及び一般管理費		5.5	6.6	+19.0
	営業利益		9.7	11.9	+23.0
	営業外損益		△0.9	△0.6	+29.2
	経常利益 ②		8.8	11.3	+28.6
	売上高経常利益率		4.1%	5.1%	—
	特別損益 ③		△0.6	△1.1	△74.3
税引前四半期純利益		8.1	10.2	+25.0	
法人税等		4.6	④ 2.3	△48.1	
四半期純利益		3.5	7.8	+120.0	

①【増減】

国内(105店舗): 出店 1店舗 退店 3店舗
米国(23店舗): 出店 8店舗

②【経常利益の差異要因】

2018年3月期 第1四半期実績	経常利益	8.8億円
---------------------	------	-------

【国内】国内売上増加	+1.4億円
リース料減少	+1.4億円
修繕費減少	+1.0億円
通信費減少	+0.5億円
販売促進費(アミューズ'景品費)増加	△1.0億円
賃借料増加	△0.4億円
その他	△0.0億円
【米国】米国損益(※下表)	△0.4億円

2019年3月期 第1四半期実績	経常利益	11.3億円
---------------------	------	--------

※【米国損益の状況】

	2018年3月期 第1四半期実績	2019年3月期 第1四半期実績	増減
売上	23.9億円	32.7億円	8.8億円増収
費用	22.6億円	31.8億円	9.2億円増加
経常利益	1.2億円	0.8億円	0.4億円減益

※損益についての詳細は次ページにて記載

③【特別損益の内訳】

2018年3月期第1四半期実績	特別損益	△0.6億円
	・ 固定資産除却損等	△0.6億円
2019年3月期第1四半期実績	特別損益	△1.1億円
	・ 固定資産売却損等	△0.7億円
	・ 固定資産除却損等	△0.3億円

④法人税等詳細については次ページにて記載

連結決算の分析② 第1四半期実績【前年対比】

◆米国経常利益の差異要因◆

2018年3月期 第1四半期実績	経常利益	1.2億円
稼働月数増加に伴う売上増(45ヶ月 ⇒ 63ヶ月)		+8.8億円
稼働月数増加に伴う費用増(45ヶ月 ⇒ 63ヶ月)		△7.6億円
初期投資費用増加		△2.1億円…①
リース減価償却費減少		+1.5億円…②
広告宣伝費増加(ウェブ広告・ラジオ等による広告費増)		△0.5億円
租税公課増加(計上月のずれによるもの)		△0.2億円
その他		△0.3億円
2019年3月期 第1四半期実績		経常利益 0.8億円

①新規店舗(オープン前)における初期投資費用増加

2018年3月期 第1四半期実績 0.4億円 / 2019年3月期 第1四半期実績 2.6億円

【要因】・工事期間中賃料の計上 ※ (2018年3月期 第1四半期実績 計上無し / 2019年3月期 第1四半期実績 1.1億円)

・その他開業費用 (2018年3月期 第1四半期実績 0.4億円 / 2019年3月期 第1四半期実績 1.4億円)

②リース減価償却費減少

2018年3月期 第1四半期実績 3.0億円 / 2019年3月期 第1四半期実績 1.5億円

【要因】・アミューズメントリース機器の耐用年数を3年から7年へ変更した事に伴う減少等 ※

※2018年3月期決算期より、米国の会計処理の変更を行ったことによる影響であります。

◆連結法人税等の計上額について◆

税引前四半期純利益10.2億円に対して法人税等が2.3億円(税率約23%)となった要因は、当期契約満了にて閉鎖の可能性のある1店舗について、過年度減損済資産4.0億円の約30%を税金資産として計上した為、法人税等が1.2億円抑えられることとなったことによるもの

連結決算の分析③ 第1四半期実績【計画対比】



(単位:億円) ※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

		単位	2019年3月期 計画 (2018.4~2018.6)	2019年3月期 実績 (2018.4~2018.6)	増減率 (%)
店舗	期末店舗数	店舗数	128	128	—
	期中店舗稼働月数	月数	380	380	—
損益	ボウリング		56.4	55.2	△2.1
	アミューズメント		106.6	107.8	+1.2
	カラオケ (米国はその他含む)		23.0	23.6	+2.4
	スポッチャ		29.7	30.3	+1.8
	その他		6.9	6.9	+0.5
	総売上		222.8	224.0	+0.5
	売上原価		201.8	205.4	+1.7
	売上総利益		20.9	18.6	△11.2
	販売費及び一般管理費		6.9	6.6	△4.3
	営業利益		14.0	11.9	△14.7
	営業外損益		△1.1	△0.6	+44.4
	経常利益 ①		12.8	11.3	△11.9
	売上高経常利益率		5.8%	5.1%	—
	特別損益		△1.0	② △1.1	△11.6
税引前四半期純利益		11.8	10.2	△13.9	
法人税等		3.9	2.3	△38.5	
四半期純利益		7.9	7.8	△1.9	

①【経常利益の差異要因】

2019年3月期 第1四半期計画	経常利益	12.8億円
■【国内】国内売上増加		+2.7億円
■ 修繕費減少		+0.7億円
■ 販売促進費(アミューズ景品費)増加		△1.3億円
■ 水道光熱費(燃料調整費)増加		△0.7億円
■ 消耗品費(カラオケ消耗品費)増加		△0.5億円
■ 人件費増加		△0.5億円
■ その他		△0.5億円
■【米国】米国売上(主に新規店舗)減少		△1.5億円
■ 手数料(ライセンス申請費)減少		+0.4億円
■ 賃借料減少		+0.4億円
■ 租税公課(支払使用税)増加		△0.3億円
■ その他		△0.3億円
2019年3月期 第1四半期実績	経常利益	11.3億円

②【特別損益の内訳】

2019年3月期第1四半期実績 特別損益 △1.1億円

- ・ 固定資産売却損等 △0.7億円
- ・ 固定資産除却損等 △0.3億円

2019年3月期 連結計画 出退店数と損益



2018年5月8日開示資料から変更していません。

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

		単位	2018年3月期			2019年3月期					
			連結	国内	米国	連結		国内		米国③	
			実績	実績	実績	計画	増減率(%)	計画	増減率(%)	計画	増減率(%)
店舗 ①	新規出退店数	店舗数	+7	+1	+6	+9	+28.6	△2	—	+11	+83.3
	総店舗数(期末)	店舗数	129	108	21	138	+7.0	106	△1.9	32	+52.4
	【内訳】所有店舗(土地建物及び建物躯体)	店舗数	24	24	—	24	—	24	—	—	—
	賃借店舗(内装のみ)	店舗数	105	84	21	114	+8.6	82	△2.4	32	+52.4
	総店舗稼働月数	月数	1,496	1,290	206	1,575	+5.3	1,270	△1.6	305	+48.1
損益	ボウリング	億円	245.2	227.2	17.9	249.0	+1.5	225.0	△1.0	24.0	+33.7
	アミューズメント	億円	453.4	377.0	76.4	496.7	+9.6	382.3	+1.4	114.4	+49.8
	カラオケ (米国はその他含む)	億円	98.4	77.0	21.3	106.1	+7.7	76.6	△0.6	29.5	+38.0
	スポッチャ	億円	132.8	132.8	—	133.5	+0.5	133.5	+0.5	—	—
	その他	億円	29.0	29.0	—	28.6	△1.4	28.6	△1.4	—	—
	総売上	億円	959.1	843.3	115.7	1,014.0	+5.7	846.0	+0.3	168.0	+45.1
	営業利益	億円	105.3	94.9	10.4	115.5	+9.6	96.3	+1.5	18.5	+77.4
	経常利益	億円	102.6	93.3	9.3	110.0	+7.1	94.2	+0.9	15.8	+69.4
	売上高経常利益率	%	10.7%	11.1%	8.1%	10.8%	—	11.1%	—	9.4%	—
	特別損失 ②	億円	△10.9	△10.9	—	△13.1	△19.2	△9.4	+13.8	△3.6	—
	税引前当期純利益	億円	91.6	82.3	9.3	96.9	+5.7	84.7	+2.9	12.1	+30.5
法人税等	億円	7.5	7.2	0.3	33.7	+344.9	30.0	+314.5	3.6	—	
当期純利益	億円	84.1	75.1	8.9	63.2	△24.9	54.7	△27.2	8.5	△5.5	

(注) ① 2018年3月期実績：出店店舗（国内1店舗、米国6店舗）、2019年3月期計画：出店店舗（国内1店舗、米国11店舗）退店店舗（国内3店舗）

② 特別損失の内訳：

【2018年3月期 実績】減損損失△ 7.1億円（国内11店舗）、アミューズメント基板除却等△ 3.8億円

【2019年3月期 計画】減損損失△ 9.1億円（国内 6店舗△ 5.4億円、米国 1店舗△ 3.6億円）、アミューズメント基板除却等△ 4.0億円

③ 米国計画については1ドル=109円換算しております。

※2019年3月期計画では連結調整を行っている為、国内計画と米国計画の営業利益の合計は連結計画と一致しません。

国内売上及び国内既存店前年対比（実績と計画）



国内売上 実績と計画

店舗数は14頁、17頁を参照してください。

※0.1億円未満切捨表示

	単位	第1四半期			第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	通期
		計画	実績	増減率(%)	計画	計画	計画	計画	計画	計画
		ポウリング	億円	51.2	50.5	△1.4	55.8	107.1	49.6	68.2
アミューズメント	億円	83.4	86.0	+3.1	107.1	190.5	94.0	97.6	191.7	382.3
カラオケ	億円	17.1	17.4	+1.7	19.9	37.1	18.4	21.0	39.5	76.6
スポッチャ	億円	29.7	30.3	+1.8	34.7	64.5	27.8	41.1	69.0	133.5
その他	億円	6.9	6.9	+0.5	7.4	14.4	6.7	7.4	14.2	28.6
総売上	億円	188.5	191.3	+1.5	225.1	413.6	196.7	235.5	432.3	846.0
各期末 国内全店舗		105	105	—	106	106	106	106	106	106

国内既存店前年対比 実績と計画

※%は四捨五入表示

	単位	第1四半期			第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	通期
		計画	実績	増減	計画	計画	計画	計画	計画	計画
		ポウリング	%	+0.1	△1.3	△1.4	△0.8	△0.4	△1.0	+0.3
アミューズメント	%	△1.5	+1.5	+3.0	+3.7	+1.3	+2.2	+0.2	+1.2	+1.3
カラオケ	%	△1.2	+0.5	+1.7	△2.6	△2.0	△1.6	+0.3	△0.6	△1.3
スポッチャ	%	+0.9	+2.7	+1.8	△1.2	△0.2	△2.5	△0.8	△1.5	△0.9
その他	%	△1.4	△0.9	+0.5	△1.0	△1.2	△1.8	+1.2	△0.2	△0.7
総売上	%	△0.7	+0.8	+1.5	+1.1	+0.3	+0.2	+0.1	+0.1	+0.2
土日祝回数前年対比	日数	±0	±0	—	±0	±0	△1	+1	±0	±0
各期末 国内既存店舗		104	104	—	104	104	105	105	105	105

米国売上及び米国既存店前年対比（実績と計画）



米国売上 実績と計画

店舗数は14頁、15頁、17頁を参照してください。

※0.1億円未満切捨表示

	単位	第1四半期			第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	通期
		計画	実績	増減率(%)	計画	計画	計画	計画	計画	計画
		ボウリング	億円	5.1	4.6	△9.5	5.9	11.0	5.5	7.3
アミューズメント	億円	23.1	21.8	△5.8	28.5	51.7	25.9	36.7	62.6	114.4
カラオケその他 ①	億円	5.9	② 6.2	+4.5	6.9	12.8	7.0	9.5	16.6	29.5
総売上	億円	34.3	32.7	△4.6	41.4	75.7	38.5	53.7	92.2	168.0
各期末 米国全店舗		23	23	—	26	26	30	32	32	32

※ 売上は、計画1ドル=109円00銭 実績1ドル=109円10銭で算出しております。

① カラオケその他売上の大部分は飲食収入であります。

② 新規実施中の『All Inclusive Party Plan』（遊び放題食べ放題のパーティープラン）による売上は全てカラオケその他に含まれております。

米国既存店前年対比 実績と計画

※%は四捨五入表示

	単位	第1四半期			第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	通期
		計画	実績	増減	計画	計画	計画	計画	計画	計画
		ボウリング	%	△2.2	△6.1	△3.9	△2.0	△2.1	△3.7	+1.9
アミューズメント	%	△0.1	△1.3	△1.2	△0.8	△0.5	△2.6	+1.3	△0.4	△0.4
カラオケその他	%	△0.3	② +7.9	+8.2	+0.0	△0.1	△2.0	+3.9	+1.2	+0.6
総売上	%	△0.5	△0.4	+0.1	△0.8	△0.7	△2.6	+1.8	△0.1	△0.4
各期末 米国既存店舗		15	15	—	16	16	19	20	20	20

※既存店前年対比はドル比較で算出しております。

2019年3月期 連結四半期 実績と計画



(単位:億円) ※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

	第1四半期			第2四半期	上期	第3四半期		第4四半期	下期	通期
	計画	実績	増減率 (%)	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
	総売上	222.8	224.0	+0.5	266.5	489.4	235.3	289.2	524.6	1014.0
売上原価	201.8	205.4	+1.7	223.7	425.6	215.8	229.3	445.1	870.7	
売上総利益	20.9	18.6	△11.2	42.8	63.7	19.4	59.9	79.4	143.2	
販売費及び一般管理費	6.9	6.6	△4.3	6.8	13.7	6.7	7.1	13.9	27.7	
営業利益	14.0	11.9	△14.7	35.9	50.0	12.6	52.8	65.5	115.5	
営業外損益	△1.1	△0.6	+44.4	△1.5	△2.7	△1.3	△1.4	△2.8	△5.5	
経常利益	12.8	11.3	△11.9	34.4	47.3	11.2	51.4	62.7	110.0	
売上高経常利益率	5.8%	5.1%	—	12.9%	9.7%	4.8%	17.8%	12.0%	10.8%	
特別損益	△1.0	△1.1	△11.6	△1.0	△2.0	△1.0	△10.1	△11.1	△13.1	
税引前当期純利益	11.8	10.2	△13.9	33.4	45.3	10.2	41.3	51.6	96.9	
法人税等	3.9	2.3	△38.5	11.4	15.3	3.4	14.9	18.4	33.7	
当期(四半期)純利益	7.9	7.8	△1.9	22.0	30.0	6.8	26.3	33.2	63.2	

2019年3月期 連結計画 キャッシュ・フロー



2018年5月8日開示資料から変更していません。

※0.1億円未満切捨表示

		単位	2018年3月期実績	2019年3月期計画
資金	当期純利益	億円	84.1	63.2
	法人税等（引当・納付・還付・未収還付を合算表示）①	億円	+5.1	+9.4
	資金の流出を伴わない損失（減損損失等）	億円	+17.2	+17.5
	配当金額	億円	△19.0	△19.0
	減価償却費（リース取引を除く）②	億円	+40.2	+44.7
	簡易キャッシュ・フロー	億円	+127.7	+115.8
	設備投資額（リース取引を除く）③	億円	△64.3	△83.7
	簡易フリーキャッシュ・フロー	億円	+63.4	+32.1
	現預金残高	億円	234.3	242.6
	有利子負債残高（リース債務除く）	億円	137.1	113.2
実質有利子負債残高	億円	△97.2	△129.3	

(注)① 2018年3月期実績の法人税等 +5.1億円の内訳

◆引当分+7.5億円 還付分 +3.8億円 支払分 △6.2億円

② 2018年3月期実績の減価償却費・・国内:25.6億円/米国:14.6億円

③ 2018年3月期実績の設備投資額 △64.3億円の内訳

◆新規店舗:39.8億円(国内:1店舗/6.7億円 米国:6店舗/33.1億円)

◆既存店舗:24.4億円(国内:22.4億円 米国:2.0億円)改装他

2019年3月期計画の法人税等 +9.4億円の内訳

◆引当分 +33.7億円 支払分 △24.2億円

2019年3月期計画の減価償却費・・国内:24.5億円/米国:20.1億円

2019年3月期計画の設備投資額 △83.7億円の内訳

◆新規店舗:63.7億円(国内:1店舗/6.0億円 米国:11店舗/57.7億円)

◆既存店舗:20.0億円(国内:19.5億円 米国:0.5億円)改装他

損益推移

損益の推移（連結）

2018年5月8日開示資料からROEのみ追加しております。

（単位：億円）※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

3月期	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年計画
期末店舗数	105	109	110	113	114	118	122	122	129	138
総売上	821	843	895	859	842	839	835	877	959	1,014
経常利益	78	69	114	82	78	61	54	58	102	110
経常利益率	9.6%	8.2%	12.8%	9.6%	9.3%	7.3%	6.5%	6.7%	10.7%	10.8%
当期純利益	33	△126	27	6	△197	△45	4	27	84	63
ROI(投下資本利益率)①	3.5%	2.9%	5.0%	4.0%	5.1%	5.9%	5.9%	6.8%	12.0%	12.3%
ROE(自己資本利益率)②	4.3%	△15.4%	3.5%	0.8%	△28.9%	△8.4%	0.9%	5.4%	15.6%	10.7%
ROA(総資産利益率)③	1.5%	△5.0%	1.2%	0.3%	△11.8%	△3.8%	0.4%	2.7%	8.1%	5.7%

①ROI計算式：経常利益 ÷ [(期首純資産 + 期末純資産) ÷ 2] + [(期首リース債務含有利子負債 + 期末リース債務含有利子負債) ÷ 2]

②ROE計算式：当期純利益 ÷ [(期首自己資本 + 期末自己資本) ÷ 2]

③ROA計算式：当期純利益 ÷ [(期首総資産 + 期末総資産) ÷ 2]

損益の推移（国内）

3月期	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年計画
期末店舗数	105	108	109	111	111	113	113	107	108	106
総売上	821	839	890	851	829	819	783	805	843	846
経常利益	78	70	114	82	78	62	51	54	93	94
経常利益率	9.6%	8.3%	12.8%	9.7%	9.4%	7.6%	6.6%	6.7%	11.1%	11.1%
当期純利益	33	△125	27	6	△196	△44	2	28	75	54

損益の推移（米国）

3月期	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年計画
期末店舗数		1	1	2	3	5	9	15	21	32
総売上		3	5	7	12	19	51	72	115	168
経常利益		△0	0	△0	△0	△0	2	4	9	15
経常利益率		—	2.6%	—	—	—	4.7%	6.1%	8.1%	9.4%
当期純利益		△0	0	△0	△0	△0	2	△1	8	8

既存店売上前年比の推移(国内)

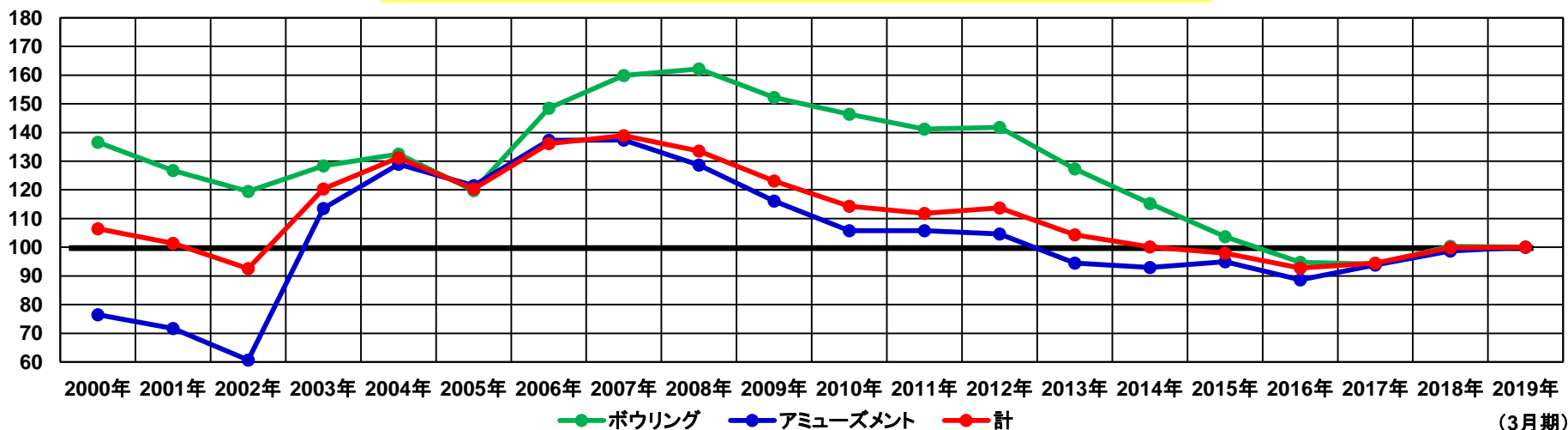
2018年5月8日開示資料から変更していません。

(単位は%)

3月期	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年 計画
ボウリング	△10.2	△7.8	△6.1	+7.0	+3.1	△10.7	+19.4	+7.1	+1.4	△6.5	△4.0	△3.7	+0.4	△11.3	△10.5	△11.2	△9.4	△0.7	+6.2	△0.3
アミューズメント	△6.3	△6.6	△18.3	+46.6	+12.0	△6.2	+11.5	+0.1	△6.8	△10.8	△9.8	+0.0	△1.1	△10.7	△1.7	+2.2	△7.2	+5.5	+5.0	+1.3
カラオケ	-	-	-	-	-	-	△4.5	+4.0	△1.2	△7.3	△13.1	+3.4	+15.8	△3.7	△1.8	+0.4	△7.4	+0.6	+1.6	△1.3
スポッチャ	-	-	-	-	-	-	-	-	△16.1	△9.8	△9.2	△4.5	+7.5	+0.2	+5.1	+3.7	+5.0	△2.5	+8.1	△0.9
その他	+13.9	+37.3	+7.8	+21.5	+13.7	△14.3	△11.3	△9.2	+13.2	+11.4	△3.9	△14.5	+1.3	△6.6	△9.9	△1.8	+9.9	+1.2	+0.7	△0.7
総売上	△7.6	△5.0	△9.5	+23.1	+8.3	△9.1	+11.6	+2.0	△4.0	△8.5	△7.7	△2.2	+1.7	△9.0	△4.2	△2.3	△5.6	+1.9	+5.3	+0.2
既存店舗数	10	19	25	38	39	40	46	57	69	79	89	104	106	108	111	111	112	105	107	105

(単位：%)

既存店国内売上前年比の推移 (2019年3月期を100とした場合)



※ カラオケ売上は2001年3月期から2005年3月期までは『その他』に含まれております。

※ 米国店舗は含んでおりません。

資産等の推移(連結)



2018年5月8日開示資料から変更しておりません。

※1億円未満切捨、%は四捨五入表示

3月期	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年 計画
総資産	2,512億円	2,521億円	2,282億円	2,062億円	1,271億円	1,115億円	1,045億円	1,017億円	1,068億円	1,144億円
純資産	856億円	790億円	798億円	787億円	575億円	516億円	497億円	508億円	567億円	611億円
自己資本比率	34.1%	31.3%	35.0%	38.2%	45.3%	46.3%	47.6%	50.0%	53.0%	53.4%
現預金残高	308億円	227億円	294億円	253億円	251億円	277億円	231億円	201億円	234億円	242億円
有利子負債残高	1,388億円	1,361億円	1,109億円	902億円	368億円	270億円	228億円	164億円	137億円	113億円
保証債務残高 ①	318億円	82億円	—	—	—	—	—	—	—	—
実質有利子負債残高 ②	1,398億円	1,216億円	814億円	649億円	116億円	△6億円	△3億円	△37億円	△97億円	△129億円
リース債務残高	259億円	284億円	273億円	246億円	196億円	163億円	160億円	179億円	155億円	210億円
リース債務含実質有利子負債残高 ③	1,658億円	1,501億円	1,088億円	895億円	312億円	156億円	156億円	142億円	58億円	81億円
当該年度新規リース契約額	122億円	137億円	106億円	91億円	81億円	71億円	88億円	109億円	80億円	155億円

(注) ① 保証債務とは、子会社にて調達した開発期間中のローンに対してラウンドワンが連帯保証するものです。これらは店舗のオープン時期にローンが返済されるため、保証債務は無くなりますが、通常は長期ローンに切り替わる事により有利子負債に計上されます。

② 『実質有利子負債残高』 = (『有利子負債残高』 + 『保証債務残高』) - 『現預金残高』

③ 『リース債務含実質有利子負債残高』 = 『実質有利子負債残高』 + 『リース債務残高』

※ 上記のリースとはアミューズメント機器やカラオケ設備等のファイナンス・リースです。

既存店舗売上対策

◆小中学生無料キャンペーン◆

- ・ボウリング、カラオケ、アミューズメント（メダル）にて中学生以下を対象に引き続き実施中

◆イベント実施◆

- ・6人以上でキーホルダープレゼント（※メダルゲームは6人で6,600円以上ご利用の場合）
現在人気急上昇中の『BiSH』×『ハローキティ』のコラボキーホルダーと『ゴールデンボンバー』のキーホルダーを月替わりでプレゼント
- ・MEGAパックご利用で『BiSH』×『ハローキティ』のコラボマスコットぬいぐるみプレゼント
- ・イベント達成者へ1,000円キャッシュバック（ボウリング、カラオケにて実施中）



◆キャンペーン実施◆ ※一部店舗を除く

- ・生ビール等アルコール（種類限定）を1杯100円～提供する『ラウンドワンDE乾杯!』を実施中（6月～）
- ・6種のフレーバーのアイスを提供する『R-1 ICE』を実施中（7月～）

◆健康ボウリング教室（各店舗150名のリーグボウラーを育成）◆

- ・各店舗150名のボウラー×101店舗=1.5万人が参加

◆ボウリング プチディナーセット販売開始◆ ※団体予約限定

- ・8月より、団体料金にプラス480円でドリンク1杯+フード1品+おつまみポテトのセットが選べるお得なサービスを実施中

◆ボウリング・スポッチャにて校外学習の実施◆

- ・9月頃より、中学校・高校を対象に学校の行事の一つとしてラウンドワンを利用して頂く校外学習プランを案内予定

◆アミューズメントの新機種導入◆

- ・『Fate/Grand Order Arcade』アーケードゲーム（セガ）7月26日より一斉稼動
- ・『レッ釣りGo!』メダルゲーム（セガ）9月末より順次稼動予定
- ・『機動戦士ガンダム エクストリームバーサス2』アーケードゲーム（バンダイナムコアミューズメント）秋より順次稼動予定



◆自動受付精算機の導入◆

【全部門（AMを除く）にて、受付・精算を自動受付精算機によりセルフ化】

- フロントは無人とし、必要な際はスタッフ呼出機能にて対応
 - ・受付、待ち時間帯の予約受付、クラブ入会/更新、競技会予約/受付、チェックアウトの操作をお客様にて実施
 - ・ボウリングはレーン割付も自動。カラオケはお客様にてルームを選択
- 料金は前払い制を基本とする

【スタッフタブレット導入により業務の効率化】

- お客様の施設利用状況が分かるスタッフタブレットを同時に導入することで、スタッフが必要な情報を端末上で把握できる
 - ・インカム、スコアラー、オーダーリング、待ち呼び、その他のシステムと連動し、必要な時だけ必要な場所へスタッフが対応に向かうことが可能

◆新システム『(仮称)ラウンドワンLIVE』の導入◆（ボウリング・カラオケにて実施）

【ボウリングエリアの全面リニューアル】

- 個室的空間の確保
 - ・新ボウラーズベンチの導入や各レーンへ32インチタブレットの設置
- 圧倒的な迫力と臨場感を演出
 - ・大型のマスクモニター、オーバーヘッドモニター、ベンチモニター等の設置
 - ・手元の3面モニターで様々なLIVEコンテンツを楽しめ、離れている相手と一緒にいるかのような感覚でプレーが可能

【少人数～大人数まで、繋がることで楽しめる機能や特典を多数搭載】

- 映像と音声を繋げて遊ぶ複数のコンテンツ
 - ・友達、同僚との映像通話を楽しみながら遊べるLIVEモード
 - ・1レーン(ルーム)対1レーン(ルーム)でスコアを競うバトルゲームや複数グループでのトーナメント機能
- 主役にも視聴者にもなれるLIVE配信コンテンツ
 - ・誰でも気軽に主役になれるLIVE配信機能
 - ・アイドルやタレントが主催するファンミーティングや、プロボウラーへ挑戦するLIVEチャレンジ

◆導入時期◆

2018年12月～2019年6月にかけて順次導入予定

出店計画



2019年3月期のオープン予定店舗

(米国：年間10店舗以上の出店を目標)

	オープン予定時期	出店国	店舗名 / 出店予定地域	店舗タイプ	営業面積
1	2018年 6月オープン済	米国	メイン店/メイン州サウスポートランド	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,238坪
2	2018年 6月オープン済	米国	コロナドセンター店 / ニューメキシコ州アルバカーキ	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,363坪
3	2018年 7月オープン済	日本	奈良ミ・ナーラ店/奈良県奈良市	スタジアム・ロードサイド(大型モール内)	3,666坪
4	2018年 8月	米国	(仮称)サウスタウンセンター店 / ユタ州サンディ	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,346坪
5	2018年 8月	米国	(仮称)ミルクリーク店 / ペンシルベニア州エリー	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,426坪
6	2018年 9月	米国	(仮称)ノースリッジ店 / カリフォルニア州サリナス	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,473坪
7	2018年 11月	米国	(仮称)ジェファーソン店 / ケンタッキー州ルイビル	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,529坪
8	2018年 冬頃	米国	(仮称)ゲートウェイ店 / ネブラスカ州リンカン	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,396坪
9	2018年 冬頃	米国	(仮称)サウスリッジ店 / ウィスコンシン州グリーンデール	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,329坪
10	2018年 冬頃	米国	(仮称)ノースリバーサイド店 / イリノイ州ノースリバーサイド	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,288坪
11	2019年 春頃	米国	(仮称)テムキュラプロムナード店 / カリフォルニア州テムキュラ	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,407坪
12	2019年 春頃	米国	(仮称)ホールヨーク店 / マサチューセッツ州ホールヨーク	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,474坪

2020年3月期以降のオープン予定店舗

	オープン 予定時期	店舗名 / 出店予定地域		オープン 予定時期	店舗名 / 出店予定地域
1	2019年 春頃	(仮称)サウスランド店 / カリフォルニア州ハイワード	5	2019年 冬頃	(仮称)パークプレイス店 / アリゾナ州トゥーソン
2	2019年 春頃	(仮称)パーバンクタウンセンター店 / カリフォルニア州パーバンク	6	2019年 冬頃	(仮称)タウソントウンセンター店 / メリーランド州タウソン
3	2019年 秋頃	(仮称)メドーフッド店 / ネバダ州リノ	7	2019年 冬頃	(仮称)ローズビル店 / カリフォルニア州ローズビル
4	2019年 秋頃	(仮称)メドーズ店 / ネバダ州ラスベガス	8	2020年 春頃	(仮称)バンクーバー店 / ワシントン州バンクーバー

※ 出店計画は本資料開示時点で賃貸借契約締結済店舗の情報を記載しており、業績計画に記載の出店数とは異なります。

※ 現在リース契約締結交渉中は19店舗（2020年春以降）あります。 **-14-**

米国店舗の現況と今後の出店方針



【2018年8月末現在営業中の23店舗】

	オープン時期	店舗名 / 地域	営業面積		オープン時期	店舗名 / 地域	営業面積
1	2010年 8月	プエンテヒルズ店 / カリフォルニア州 シティオブインダストリー	1,686坪	13	2017年 1月	サウスウエスト店 / コロラド州リトルトン	1,857坪
2	2012年 9月	モレノバレー店 / カリフォルニア州モレノバレー	1,249坪	14	2017年 3月	ストーンクレスト店 / ジョージア州リソニア	1,420坪
3	2013年 8月	レイクウッド店 / カリフォルニア州レイクウッド	1,223坪	15	2017年 3月	フォックスバレー店 / イリノイ州オーロラ	1,453坪
4	2014年 10月	ストラットフォード店 / イリノイ州ブルーミングデール	1,121坪	16	2017年 7月	ブロードウェイ店 / ニューヨーク州ヒックスビル	1,422坪
5	2014年 12月	アーリントン・パークス店 / テキサス州アーリントン	1,824坪	17	2017年 9月	クリスタルラン店 / ニューヨーク州ミドルタウン	1,295坪
6	2015年 5月	メインプレイス店 / カリフォルニア州サンタアナ	1,143坪	18	2017年10月	グレートレイクスクロッシング店 / ミシガン州 オーバーンヒルズ	1,454坪
7	2015年 7月	サウスセンター店 / ワシントン州タックウィラ	1,171坪	19	2017年11月	ノースウッド店 / イリノイ州ピオリア	1,653坪
8	2015年 9月	イーストリッジ店 / カリフォルニア州サンノゼ	1,463坪	20	2018年1月	フォーシーズンズ店 / ノースカロライナ州グリーンズボロ	1,734坪
9	2015年 12月	シルバーシティ店 / マサチューセッツ州タウントン ※	1,818坪	21	2018年3月	グレートレイクス店 / オハイオ州メンター	1,433坪
10	2016年 5月	グレイプバインミルズ店 / テキサス州グレイプバイン ※	2,285坪	22	2018年6月	メイン店 / メイン州サウスポートランド	1,238坪
11	2016年 8月	サンバレー店 / カリフォルニア州コンコード	1,329坪	23	2018年6月	コロナドセンター店 / ニューメキシコ州アルバカーキ	1,363坪
12	2016年12月	エクストン店 / ペンシルベニア州エクストン	1,673坪	※一部のエリアにて、キッズプレイゾーン事業を行っております。 グレイプバインミルズ店2016年10月、シルバーシティ店2017年3月より開始。			

※表の区分『好調店舗（黄色）』と『平均店舗（緑色）』と『低調店舗（ピンク色）』に色分けしております。
※色分けは年4回開示資料で更新致します。

米国店舗の現況と今後の出店方針



【今後の出店方針の概要】

2018年5月8日開示資料から変更しておりません。

出店候補地	全米の既存大型ショッピングモール内への直営による居抜き出店(出店対象となるモールは全米で約900施設)
営業面積	42,000SQF(約1,200坪)~64,000SQF(約1,800坪)
商圈人口	半径5マイル(約8km)・・・15万人以上、半径10マイル(約16km)・・・40万人以上
対象顧客	ショッピングモールへの来店客(夜間は大学生を中心とした若年層) ※男女比は50%:50%を想定
平均客単価	約14ドル(1,540円)
売上構成	アミューズメント・・・約66%、ボウリング・・・約16%、飲食・・・約14%、カラオケ(飲食除く)・・・約1%、その他・・・約3%
投資額	約720万ドル(約7.8億円)・・・うちリース約200万ドル(約2.1億円)、現金約520万ドル(約5.6億円) 内訳:内装関連・・・約2.8億円、什器備品等・・・約1.4億円、アミューズメント機器(リース)・・・約2.1億円、ボウリング機器・・・約0.8億円、開業費等・・・約0.7億円
リース費用特性	7年償却(アミューズ機器はより3年から7年へ変更) ⇒8年目以降はリース料負担が軽減されるために利益額(利益率)が向上

※参考:1 SQF(スクエアフィート) = 約0.0281坪、1マイル = 約1.6Km、1ドル = 109円で計算

【現状：設備投資額及び収支状況】 ※数値は年1回決算時に更新致します。

区分		好調店舗	平均店舗	低調店舗
年間 収 支	総売上	740万ドル(約8.1億円)	600万ドル(約6.5億円)	380万ドル(約4.1億円)
	営業利益(初年度)	110万ドル(約1.2億円)	30万ドル(約0.3億円)	△100万ドル(約△1.1億円)
	営業利益(2~7年度)	200万ドル(約2.2億円)	120万ドル(約1.3億円)	△10万ドル(約△0.1億円)
	営業利益(8年度~)	220万ドル(約2.4億円)	140万ドル(約1.5億円)	0万ドル(約0.0億円)
	営業利益率 (2年~7年度)	27.0%	20.0%	△2.6%

※初年度の営業利益は開業費、会計上の工事期間賃料を含みます。本社費は除きます。 ※平均店舗は全店舗での平均値であります。

店舗の状況



出退店・期末店舗数の推移

日本	～2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (計画)
出店数	101	11	3	1	3	—	2	1	2	1	1
退店数	※ 7	—	—	—	※ 1	—	—	※ 1	※ 8	—	※ 3
期末店舗数	94	105	108	109	111	111	113	113	107	108	106

米国	～2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (計画)
出店数	—	—	1	—	1	1	2	4	6	6	11
退店数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
期末店舗数	—	—	1	1	2	3	5	9	15	21	32

連結	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (計画)
期末総店舗数	94	105	109	110	113	114	118	122	122	129	138

※ 20店舗の退店理由（契約期間満了：9店舗、自社競合解消：6店舗、近隣に大型店を新築：3店舗、建替：1店舗、テスト店舗の閉鎖（テスト期間2年）：1店舗）

日本国内105店舗内訳（2018年6月末現在）

※米国店舗は、スタンダードタイプのロードサイド店舗であり、賃借のみであります。

形態別				期末店舗数
スタンダードタイプ		スタジアムタイプ		
繁華街店舗	ロードサイド店舗	繁華街店舗	ロードサイド店舗	
10	48	1	46	105

区分別		期末店舗数
賃借店舗	所有店舗	
82	23	

※所有店舗には、土地建物所有の8店舗と借地権付建物所有の15店舗を含んでおります。

国内外エリア別129店舗内訳（2018年6月末現在）

出店エリア	日本								米国	合計
	北海道・東北	北陸・甲信越	関東	中部・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	合計		
店舗数	11	4	33	12	26	8	11	105	23	128
シェア	8.5%	3.1%	25.6%	9.3%	22.5%	6.2%	8.5%	83.7%	16.3%	100.0%

各種お知らせとIRに関するお問い合わせ先



本資料取扱上のご注意

本資料は投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料により被った全ての損害について、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません。なお、本資料は作成日現在の情報をベースにしており、その作成には細心の注意を払っておりますが、その内容についてその実現を保証するものではなく、万が一内容に誤りがあった場合においても、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません（万が一、数値等に誤りを発見した場合には、ホームページ上にて訂正させていただきます）。本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ラウンドワンに帰属しており、いかなる目的であれ無断で複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

IR方針(サイレンス期間)について

当社では、投資家の皆様への公平を期するため、原則として決算発表（四半期決算を含む）の約2週間前よりIRに関する取材をご遠慮頂いております。ただし、事業に関する基本的な内容、過去に発表済の内容、及び現在進行中のイベントや企画に関するお問い合わせや取材等はお受けいたします。以上、皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

ホームページへのアクセス先

◎【PC用・スマートフォン用ホームページ】

<http://www.round1.co.jp/> もしくは

◎【携帯用ホームページ】（お客様用/IR情報等なし）

docomo、Soft Bank、au

<http://www.round1.co.jp/mobile/>



※ 携帯電話からの携帯用ホームページへの接続料や通信料(パケット料)はお客様のご負担となりますので、ご注意願います。一部の機種では、モバイルサイトをご覧いただけない場合がございます。

IRお問い合わせ先：株式会社ラウンドワン 管理本部 TEL (072)224-5115 / 平日 10:00~19:00